大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019 年度)

科	目 名 卒業研究 I		科目コード	T1300D1			
期・通年	授業実施所態		通常 ・ 集中	単 位 数	6 単位		
秀憲	履修グループ		4B(SP)	授業方法	演習		
チームで作品の企画を行い企画書にまとめ作品を制作できることを目標とする。							
5~8名でチームを構成し企画から制作までを行う。チームの背丈にあった企画・計画を作成し、作品の完成を目指す。計画通りに行かない場合、企画が変更となる場合もある。完成させるためにチームとしてどうすべきか、チームのために自分が何をすべきかを考え行動することが大事である。							
学校で学んだすべての知識・手法							
普通教室、PC 実習室							
学部DP(番号表記) 学生が達成すべき行動目標							
2, 3, 4 作品の完成度を上げるための緻密が制作技法を習得できる。 関到達目標 3, 5 グループにおけるコミュニケーションは対すを翌得できる。							
グルー	プにおける	アーション技法を習得できる。					
	ームを構成し計画通りに行っしかために すべての知識・ で実習室 ままむ 作品の	高の企画を行い企画書に 一ムを構成し企画から制画通りに行かない場合 一ムのために自分が何を 対べての知識・手法 で実習室 まま覚りな企画から 作品の完成度を上	高の企画を行い企画書にまとめ作 一ムを構成し企画から制作までを計画通りに行かない場合、企画が一ムのために自分が何をすべきからかべての知識・手法 で実習室 「実践がな企画から制作まで」 作品の完成度を上げるための	秀憲 履修グループ 4B(SP) 品の企画を行い企画書にまとめ作品を制作できることを目標 一ムを構成し企画から制作までを行う。チームの背丈にあっ 計画通りに行かない場合、企画が変更となる場合もある。完 ームのために自分が何をすべきかを考え行動することが大事 さすべての知識・手法 で実習室 学生が達成すべき行動 実践がな企画から制作まで工程を習得できる。	秀憲 履修グループ 4B(SP) 授業方法 品の企画を行い企画書にまとめ作品を制作できることを目標とする。 一ムを構成し企画から制作までを行う。チームの背丈にあった企画・計画を計画通りに行かない場合、企画が変更となる場合もある。完成させるために一ムのために自分が何をすべきかを考え行動することが大事である。 「すべての知識・手法 で実習室 学生が達成すべき行動目標 実践がな企画から制作まで工程を習得できる。 作品の完成度を上げるための緻密な制作技法を習得できる。		

		評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポート フォリ オ	その他	合計	
達成度評価	総合評価割合						50		50	100	
	学 部 D P	1.知識・理解									
		2.思考·判断					40			40	
		3.態度							20	20	
		4.技能·表現					10			10	
		5.関心・意欲							30	30	
		評価方法	評価の実施方法と注意点								
		討験									
	クイズ 小テスト										
		レポート	企画書の提出								
評価の要点		成果発表ロ頭・実技									
		作品	作品の完成	渡							
	ポ	ートフォリオ									
		その他									

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	打合せと企画のまとめ、制作	打合せと 制作	
第2週 /	進捗状況確認 打合せと企画のまとめ、制作	打合せと制作	
第3週 /	進捗状況確認 打合せと企画のまとめ、制作 発表資料作成	打合せと 制作	
第4週 /	企画案発表	発表	
第5週 /	企画案発表	発表	
第6週 /	打合せと企画の練り直し、制作	打合せと制作	
第7週 /	進捗状況確認 打合せと整理、制作	打合せと制作	
第8週 /	進捗状況確認 打合せと整理、制作	打合せと制作	
第9週 /	進捗状況確認 打合せと整理、制作	打合せと制作	
第 10 週 /	進捗状況確認 打合せと整理、制作	打合せと制作	
第 11 週 /	進捗状況確認 打合せと整理、制作 発表資料作成	打合せと制作	
第 12 週 /	進捗状況確認 打合せと整理、制作 発表資料作成	打合せと制作	
第 13 週 /	作品発表	発表	
第 14 週 /	作品発表	発表	